

専門研修プログラム名	聖マリアンナ医科大学病院連携施設 精神科 専門医研修プログラム	専門研修プログラム
基幹施設名	聖マリアンナ医科大学病院	
プログラム統括責任者	古茶 大樹	

専門研修プログラムの概要	<p>聖マリアンナ医科大学病院神経精神科は、思春期から老年期におけるあらゆる精神疾患を対象とし、臨床から研究に至る幅広い領域において活躍してきた。基幹病院となる聖マリアンナ医科大学病院神経精神科は、精神疾患に特化した3つの治療研究センター、すなわち「認知症（老年精神疾患）治療研究センター」、「統合失調症治療センター」、「精神療法・ストレスケアセンター」を有し、各領域のエキスパートを中心に特殊外来や研究活動を行っている。「認知症（老年精神疾患）治療研究センター」では「認知症診断外来」を開設しており、「聖マリアンナ医大式コンピューター化記憶機能検査（STM-COMET）」による極めて早期の段階の認知症の診断のほか、治療介入の評価や、音楽専門家の指導による患者さんと家族によるコーラス活動「フロイデンコア」、家族のための「認知症はじめて講座」などを行なっている。「統合失調症治療センター」では、精神病の発症予防、早期発見と早期治療を目的に、「MEET外来」を開設している。また難治性の統合失調症に対するクロザピン治療や新しい治療法も試みている。「精神療法・ストレスケアセンター」は、精神分析や力動的な精神療法を中心とした「精神療法セミナー」を定期的に開催し、症例検討などを実施している。病棟は48床の閉鎖病棟で、特定機能病院の中の精神科病棟として、急性期の治療や難度の高い病態の診断や治療、ならびに精神障害に合併した身体疾患の急性期治療を身体診療各科と協力して行っている。また高齢者や身体的ハイリスク患者、薬物治療抵抗性のうつ病や統合失調症に対する修正型電気けいれん療法（mECT）を多数行っている。物忘れや認知症の一日検査入院も実施している。</p>
専門研修はどのようにおこなわれるのか	<p>専攻医は入院患者の担当医となり、指導医の指導を受けながら、看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカーらとチームを組み、各種精神疾患に対し生物学的検査・心理検査を行い、薬物療法、精神療法、mECTなどの治療を柔軟に組み合わせ、最善の治療を行っていく。リエゾン・コンサルテーションも積極的に行っており、せん妄への対応など、大学病院ならではの症例を多く体験できる。研修の過程で、ほとんどの精神疾患の診断と治療についての基礎的な知識を身につけることが可能である。また、医療法人 誠心会 あさひの丘病院、医療法人社団 碧水会 長谷川病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院神経精神科、社会医療法人 興生会 横手興生病院、東京都立松沢病院、慶應義塾大学病院精神・神経科、社会福祉法人 桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院、医療法人 明和会 西八王子病院、医療法人社団 新六会 大富士病院、医療法人 大和会 西毛病院、ハートフル川崎病院、医療法人社団 清風会 富士見台病院の12施設を研修連携施設として有している。専攻医はこれらの施設をローテーションしながら研鑽を積み、精神科医としての実力を向上させつつ、専門医を獲得することが可能である。</p>

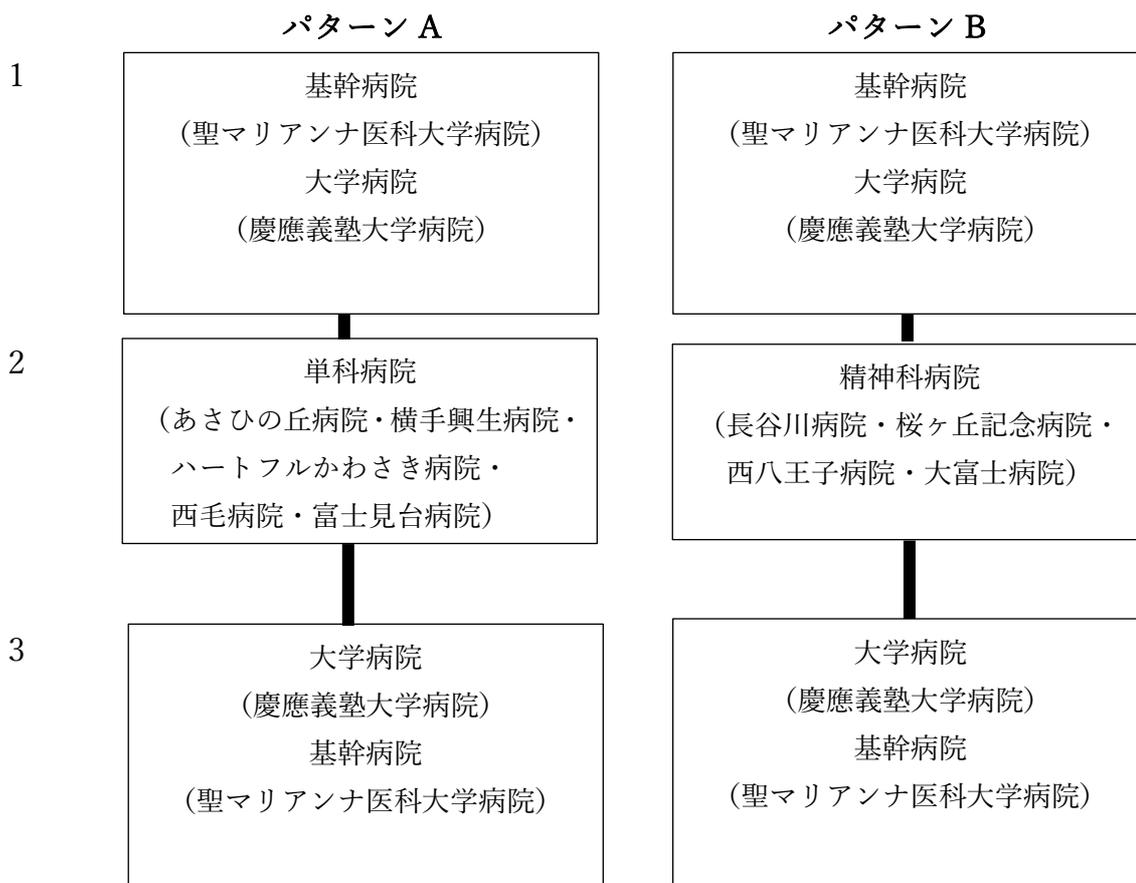
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	専攻医は、「精神科領域研修プログラム整備基準」に記載されている12の専門知識、10の専門技能について学んでいく。基幹病院となっている当院は主に1年目にローテーションして頂き、統合失調症、気分障害、認知症等の主要疾患を中心に経験（入院/外来共に）、生化学・生理学・心理学・画像診断等についても包括的に理解する。精神療法・薬物療法・心理社会療法・身体療法について学び、精神科救急や行動制限等の治療場面において、また任意入院や非自発的入院治療、外来といった診療形態に応じて、最適な治療方法を選択できるようになる。病棟研修では主にチーム制をとっており、上級医の指導の下、専攻医は診療を行い、実践的に学ぶよう工夫している。児童・思春期精神障害、アルコール、薬物依存症の症例についても当院ならびに連携施設の研修ですべて学ぶことができる。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	カンファレンスは週2回行われ、新入院患者の診断・治療について診療部長である教授等より助言と指導が受けられる。教授等が直接患者と問診する場面もみることができる。また、月1回症例検討会を開催して、1症例を多角的に議論して、症例についての理解を深める事も行っている。
	学問的姿勢	1)自己研修とその態度、2)精神医療の基礎となる制度、3)チーム医療、4)情報開示に耐える医療について生涯にわたって学習し、自己研鑽に努める姿勢を涵養する。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	患者、家族のニーズを把握し、患者の人権に配慮した適切なインフォームドコンセントが行える。病識のない患者に対して、人権を守る適切な倫理的、法的対応ができる。患者中心の医療を実践しながら、医師として継続的に成長する。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	主に1年目に基幹病院として大学病院にて研修を行い、精神科医としての基本的な知識を身につける。2年目あるいは3年目には私的単価精神科病院を中心として難治・急性期症例等、幅広く経験する。
	研修施設群と研修プログラム	研修施設群は、「精神科領域研修プログラム整備基準」の中の「精神科専門研修施設群の構成要件」に記載されている6つの要件を満たすものとする。基幹施設は研修プログラムの企画、立案、実行を行い、専攻医の指導に責任を負えるようにする。
	地域医療について	病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療、地域医療などでの医療システムや福祉システムを理解する。具体的には、基礎疾患により通院困難な場合の往診医療、精神保健福祉センター及び保健所等関係機関との協働や連携パスなどを学び、経験する。
専門研修の評価	研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医が評価し、フィードバックする。その際、メディカルスタッフの意見も参考にする。1年毎にプログラムの進行状況ならびに研修目標の達成度を指導責任者が確認して、次年度の研修計画を作成する。結果を総括責任者に提出する。	

修了判定	3年間の研修終了前に、プログラム管理委員会において、専攻医の知識・技能・態度それぞれについて評価を行い、総合的に修了を判定する。ただし、知識・技能・態度の中に不可の項目がある場合には修了と見做されない。	
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	プログラム管理委員会は、専攻医およびプログラム全般の管理とプログラムの継続的改良を行う。
	専攻医の就業環境	各施設の労務管理基準に準拠する。
	専門研修プログラムの改善	基幹病院の総括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて、定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。
	専攻医の採用と修了	診療部長ならびに医局長が履歴書記載内容と面接結果等に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。修了に関しても診療部長ならびに医局長が専攻医の研修状況を評価して可否を決定する。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	診療部長ならびに医局長が妥当であると判断した場合、当該専攻医の研修の休止・中断が認められる。プログラムの移動、プログラム外研修に関してもそれ相応の理由等がある場合、診療部長ならびに医局長により許可される。
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	必要時に適宜、連携施設のサイトビジットを行う。
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、 役職を記述してください。	古茶大樹（神経精神科教授）、小野和哉（神経精神科特任教授）、笠貫浩史（神経精神科病院教授）、中川敦夫（神経精神科病院教授）、安藤久美子（神経精神科准教授）、三宅誕実（神経精神科講師）、袖長光知穂（神経精神科講師）、小口芳世（神経精神科講師）、島内智子（神経精神科助教）	
Subspecialty領域との連続性	精神科サブスペシャリティは、基本的には精神科専門研修を受け、精神科領域専門医となった者がその上に立って、より高度の専門性を獲得することを目指すものとする。	

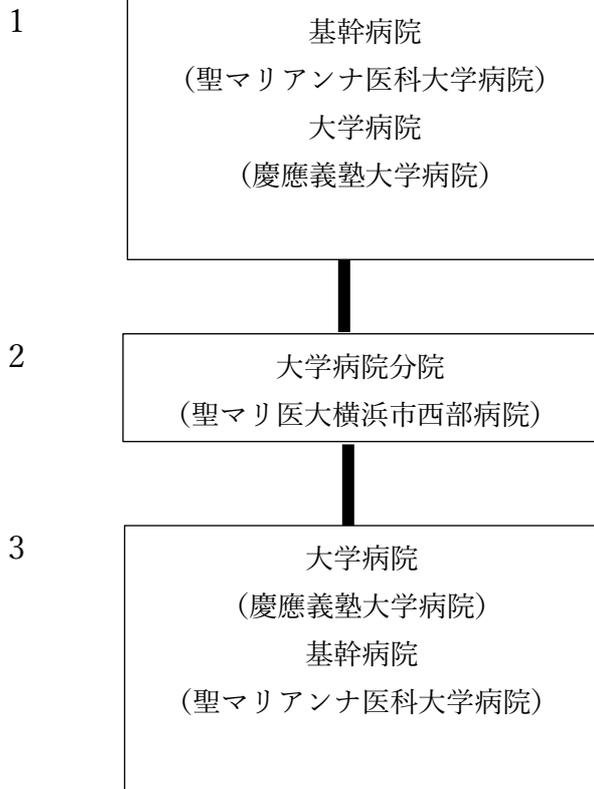
聖マリアンナ医科大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

専攻医のニーズに応じて多様な研修パターンを用意可能である。なお、いずれも1年間
ずつのローテーションとなる。なお、本プログラムは専攻医の事情等においてアレンジ
可能であるが、専攻医は原則として基幹施設では連続した6ヶ月以上、連携施設（基幹
施設以外）では1ヶ所につき連続した3ヶ月以上在籍して研修を行うものとする。

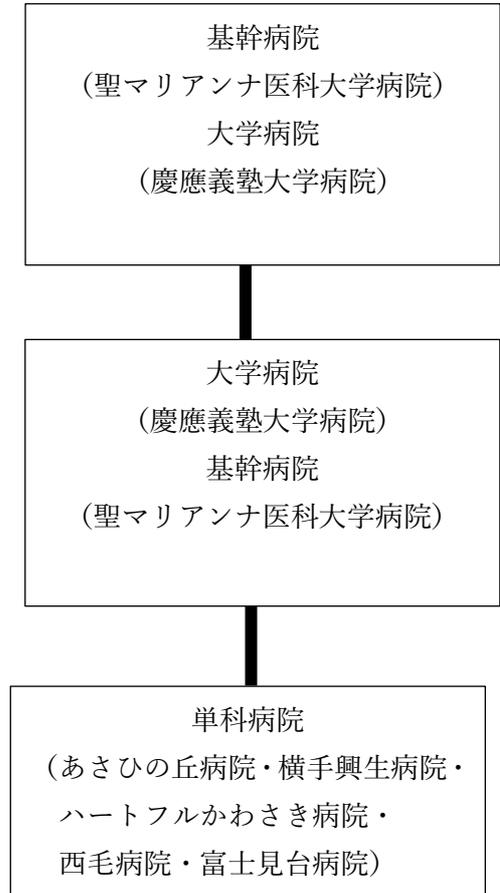
1,2,3は専攻医1,2,3年目をあらわすものとする。



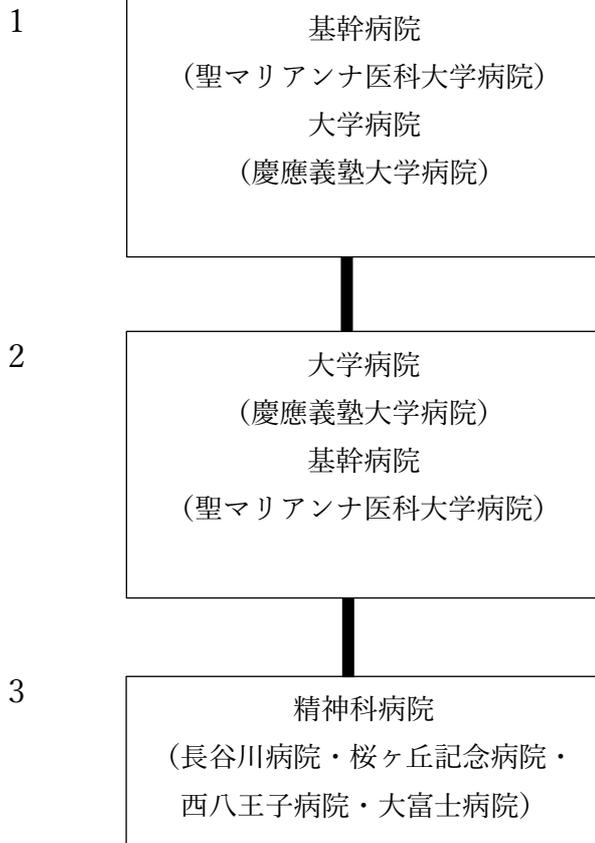
パターン C



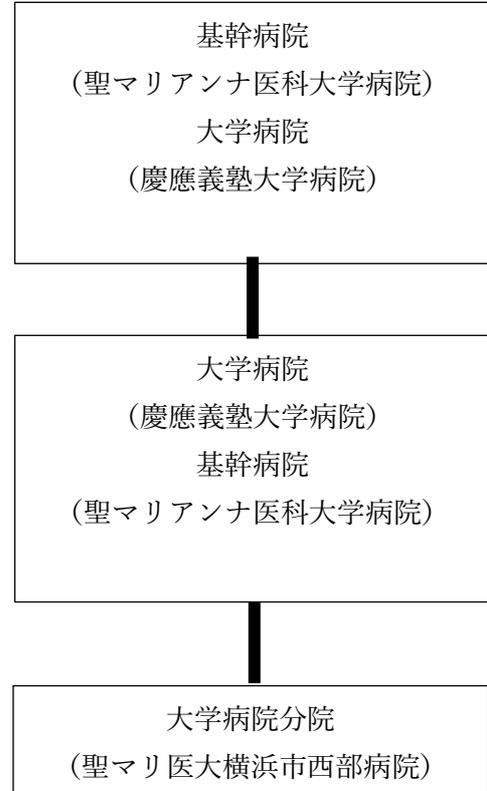
パターン D



パターン E



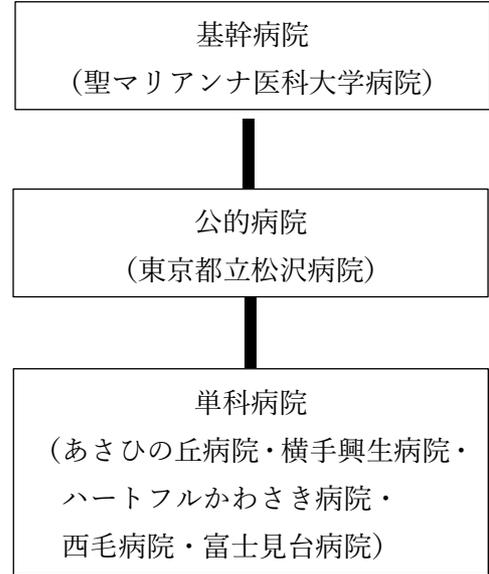
パターン F

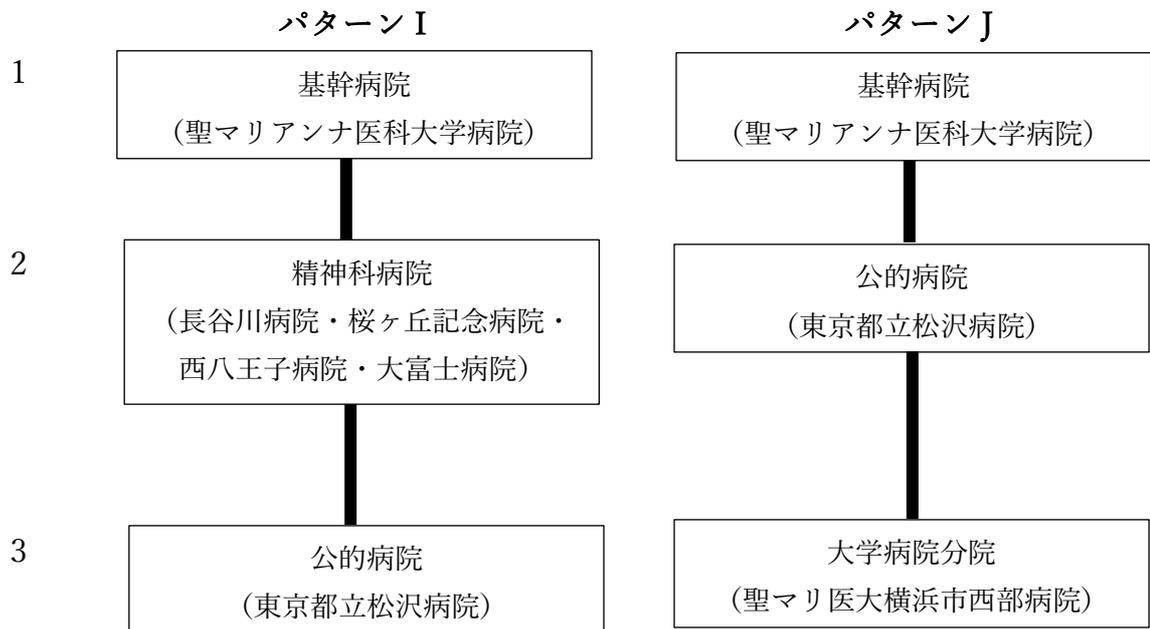


パターン G



パターン H





※以下、いずれの施設においても、就業時間が週 40 時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

聖マリアンナ医科大学病院

週間計画

	月	火	水	木	金
8:30-9:00					輪読会ある いは抄読会
9:00-12:00	チームカン ファレンス 病棟業務	外来予診 あるいは外 勤	教授陪診	外来予診 リエゾン	チームカン ファレンス 病棟業務
13:00-16:00	教授回診	病棟業務 あるいは外 勤	病棟業務	病棟業務	入退院会議
16:00-17:00	病棟ケース カンファ	病棟業務 あるいは外 勤	病棟業務 クルズス (不定期)	病棟業務	病棟業務
19:00-20:00					臨床精神医

					学研究会 (年3回) 精神療法セ ミナー(不 定期)
--	--	--	--	--	--

年間計画

4月	オリエンテーション 各種クルズス SR(専攻医)1研修開始 SR2・3前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告提出
5月	多摩田園臨床精神医学研究会参加
6月	ポートフォリオ面談での形成的評価 前年度研修実績報告書提出 日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加(任意) 日本司法精神医学会参加(任意)
7月	日本うつ病学会参加(任意)

8月	教室精神療法セミナー参加
9月	多摩田園臨床精神医学研究会参加 日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	ポートフォリオ面談での形成的評価 SR1・2・3研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会参加（任意） 日本神経精神薬理学会参加（任意） 日本児童青年精神医学会参加（任意）
11月	専攻医採用面接 地方精神神経学会参加・演題発表
12月	教室集談会参加・演題発表 研修プログラム管理委員会開催 日本精神保健・予防学会参加（任意） 日本精神科救急学会参加（任意）
1月	ポートフォリオ面談での形成的評価
2月	多摩田園臨床精神医学研究会参加
3月	総括的評価 SR1・2・3研修報告書

研修プログラム評価報告書の作成 日本統合失調症学会参加（任意）
--

あさひの丘病院

研修医の週間スケジュール（週4-5日勤務）

	月	火	水	木	金	土
9:00 - 12:00	mECT 病棟業務	mECT 病棟業務	病棟業務 外来業務	mECT 病棟カンファ (救急・急性期)	mECT 病棟業務	病棟業務
13:00-15:00	インテーク	心理教育 地域生活 支援センター		医局会 心理教育	病棟カンファ (亜急性期)	病棟業務
15:00-18:00	病棟カンファ (認知症)	病棟業務	病棟業務 CBT	病棟業務	ミーティング	病棟業務
			救急当番		救急当番	

※救急当番は水か金のいずれか良い日

2) 研修医の年間スケジュール

4月	オリエンテーション、各種クルズス
5月	横浜市西部地区精神医学研究会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意） 日本司法精神医学会参加（任意）
7月	日本うつ病学会参加（任意）
9月	日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会参加（任意） 日精協学会参加（任意）
11月	地方精神神経学会参加・演題発表
12月	横浜市西部地区精神医学研究会参加 日本精神科救急学会参加

3月	総括的評価 研修プログラム評価報告書の作成 日本統合失調症学会参加（任意）
その他	医療観察法、家族教室参加

医療法人社団碧水会長谷川病院

週間計画

	月	火	水	木	金
9:00-12:00	入院診察 外来予診	医局会 mE C T	C B T	入院診察 外来予診	入院診察 外来予診
13:00-15:00		診療会議 症例検討会	病棟業務	病棟カンファレンス (認知症)	病棟業務
15:00-18:00	病棟カンファレンス (アルコール病棟)	病棟カンファレンス (救急)	病棟カンファレンス (救急)	病棟カンファレンス (急性期)	病棟業務

年間計画

4月	オリエンテーション 各種クルーズ
5月	多摩地区精神医学研究会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意） 日本司法精神医学会参加（任意） 東京都精神科集談会参加
7月	日本うつ病学会参加（任意）
9月	日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会参加（任意） アルコール・アディクション学会参加（任意） 日精協学会参加（任意）
11月	家族教室参加 地方精神神経学会参加・演題発表
3月	総括的評価

F4 F7 F8 F9 F50	1100	0
F6	10	0
その他	0	0

・ ・ 施設としての特徴(扱う疾患の特徴等)

当院は 518 床の総合病院(横浜市地域中核病院)無床精神科であるため、入院加療が必要となるケースが多い統合失調症や双極性障害の症例は他の有床精神科施設と比較して少なく、その一方で身体疾患を持つ症例(器質・症状性精神障害)や続発する適応障害、せん妄などの疾患が多い。薬物療法のみではなく心理面や背景となる身体疾患を考慮した心理面の対応、非薬物療法を学ぶことができる。

初診の約半数は外来受診及び院内コンサルト共に認知症や器質性精神障害である(F0)。軽度認知障害の鑑別診断、自動車運転免許判定、さらにレビー小体型認知症やパーキンソン病、てんかんの診断も得意分野であり、状態に応じて適宜脳神経内科や脳神経外科との連携を行っている。

小児科、産婦人科とは積極的に連携しており、発達障害や周産期精神障害も経験することができる。

当院は三次救命センターを有しており、さらに日本総合病院精神医学会専門医研修施設にも認可されているため、リエゾンコンサルテーションの症例は充実している。院内では身体合併症に配慮しながらの薬物療法や非薬物療法を院内他科や他部門との連携において行っている。さらに他職種が含まれる緩和ケアチームとしての活動(院内回診、研修会企画)も盛んに行なわれている。

◆週間スケジュール

④聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

	月	火	水	木	金
08:00~08:30					古典精読会
08:30~09:00	朝カンファレ ンス	朝カンファレ ンス	朝カンファレ ンス	朝カンファレ ンス	朝カンファレ ンス

09:00~12:30	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
13:00~16:00	病棟往診	病棟往診	病棟往診	病棟往診	病棟往診
16:00~17:00	リエゾンカン ファレンス	リエゾンカン ファレンス	緩和ケアチー ム回診	リエゾンカン ファレンス	リエゾンカン ファレンス

◆年間スケジュール

④聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

4月	オリエンテーション 各種クルズス
5月	多摩田園臨床精神医学研究会
6月	日本精神神経精神学会
7月	日本うつ病学会 精神病理ワークショップ
8月	
9月	日本サイコオンコロジー学会
10月	日本精神病理学会 研修中間報告書提出
11月	日本認知症学会 日本総合病院精神医学会 多文化間精神医学会 当院緩和ケア研修会（受講/ファシリテーターとして参加）
12月	
1月	
2月	多摩田園臨床精神医学研究会
3月	研修プログラム評価報告書の作成 総括的評価

横手興生病院

■ 週間計画

	月	火	水	木	金
8:30~12:30	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
13:30~14:00	病棟業務	医局会	病棟業務	カンファレンス (救急病棟)	病棟業務
14:00~15:00		病棟業務		病棟業務	
15:00~17:00			EEG・CT 読影		
17:00~		担当症例振り返り		担当症例振り返り	当直業務

■ 年間計画

4月	・ オリエンテーション ・ 各種クルズス
5月	・ 秋田県精神医療懇話会
6月	・ 秋田司法精神医学研究会 ・ 日本精神神経学会学術総会 ・ 日本老年精神医学会
7月	
8月	
9月	・ 日本自殺予防学会総会
10月	・ 東北精神神経学会総会
11月	・ 秋田県精神医療懇話会
12月	
1月	
2月	
3月	・ 総括評価・評価報告書作成

※ その他各種学会への参加と参加者による報告会の実施

B 研修連携施設

施設名：東京都立松沢病院

- ・ 施設形態：公的病院
- ・ 院長名：水野 雅文
- ・ 指導責任者氏名：正木 秀和
- ・ 指導医人数：(21) 人
- ・ 精神科病床数：(800) 床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	563	517
F1	784	356
F2	3021	1282
F3	1135	361
F4 F50	724	200
F4 F7 F8 F9 F50	1366	431
F6	208	66
その他	1125	91

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は東京都世田谷区に位置し、東京都の行政精神科医療等で中核的な役割を担っている精神科病院である。800床の精神科病床を有し、精神科医が約40名在籍している。内科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科の身体合併症入院病床も有し、身体科の医師は約25名在籍する。精神科救急医療、急性期医療、身体合併症医療、社会復帰・リハビリテーション医療、青年期医療、認知症医療、アルコール・薬物医療、医療観察法病棟の他、デイケア、精神科作業療法等を行っている。精神科領域のほとんどの疾患を経験することができ、措置入院や医療観察法入

院を含め、すべての入院形態の症例を扱っている。

別紙 2：週間計画（基幹・連携）

週間スケジュール

東京都立松沢病院

	月	火	水	木	金
0830-0930	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診
0930-1200	病棟業務	外来初診	病棟業務	病棟業務	病棟業務
1200-1300	クラス				
1330-1700	病棟業務 病棟カンファレンス	病棟業務	病棟業務	外来再診	病棟業務
	1630-1730 ケースカンファレンス	1700-1730 医局会			1630-1730 外来カンファレンス
1800-2030		集談会・講演 会（月1回）			

別紙 3：年間計画（基幹・連携）

年間スケジュール

東京都立松沢病院

4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会（任意）
10月	日本臨床精神神経薬理学会年会（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12月	
1月	
2月	2年目専攻生東京医師アカデミー研究発表
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

週間スケジュール

① 慶應義塾大学病院

	月	火	水	木	金	土 (第2, 4, 5)
8:30-9:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
9:00-10:00	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務
10:00-11:00			病棟カンファ			
11:00-12:00			外来・病棟業務			
13:00-15:00	病棟業務 (リエゾン含む)	病棟業務 (リエゾン含む)	入退院カンファ	病棟業務 (リエゾン含む)	病棟業務 (リエゾン含む)	病棟業務 (リエゾン含む)
15:00-16:00			教授回診			
16:00-16:30			病棟業務 (リエゾン含む)			
17:00-18:00			リエゾンカンファ・抄読会・症例検討会			
18:00-19:00			通年講義			
19:00-20:00			通年講義	神経内科合同症例検討会 (3か月に1回)		

年間スケジュール

① 慶應義塾大学病院

	内容
4月	オリエンテーション SR1 研修開始 SR2・3 前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告提出
5月	教室研究会（プログラム全体）参加
6月	ポートフォリオ面談での形成的評価 前年度研修実績報告書提出 日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京精神医学会参加
8月	
9月	教室研究会（プログラム全体）参加
10月	ポートフォリオ面談での形成的評価 SR1・2・3 研修中間報告書提出
11月	東京精神医学会参加
12月	研修プログラム管理委員会参加 教室研究会参加
1月	ポートフォリオ面談での形成的評価
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成 SR1・2・3 研修報告書の作成 教室研究会（プログラム全体）参加 東京精神医学会参加

⑦ 施設名：桜ヶ丘記念病院

・施設形態：単科精神科病院

・院長名：岩下 寛

・指導責任者氏名：岩下 寛

・指導医人数：(13) 人

・精神科病床数：(467) 床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	148	69
F1	289	70
F2	1333	463
F3	1052	136
F4 F50	535	34
F4 F7 F8 F9 F50	221	46

F6	43	7
その他	385	129

施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

近年アメニティの改善を図りながら全病棟を機能別に再編成し、精神科救急入院料病棟、精神科急性期治療病棟、アルコール疾患、認知症疾患治療病棟等、各専門病棟や精神療養病棟等を整備し、それぞれの病棟が多様な治療プログラムを用意することによって、個々の患者さんのニーズに即した、より個別的な治療を行う体制が整った。

またこの間も、アルコール疾患、認知症疾患、認知行動療法等各専門外来、更にはデイケア、訪問看護、ホームヘルプサービス等を中心に外来治療と地域ケアの一層の充実を図るとともに、平成 27 年 9 月 1 日には“地域連携型認知症疾患医療センター”の指定を受け、今後は多摩市を中心に認知症医療における諸機関連携の推進役を担っていくこととなった。

③ 桜ヶ丘記念病院

	月	火	水	木	金
8:30~ 9:00	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
9:00~ 12:00	外来 デイケア	外来 デイケア	外来 デイケア	外来 デイケア	外来 デイケア
13:00~ 13:30	ニューケース カンファレンス	病棟業務	病棟業務 症例検討会	病棟業務	病棟業務 病棟ミーティング

13:30~ 16:30	病棟業務 診療部会議				
-----------------	---------------	--	--	--	--

⑤ 桜ヶ丘記念病院

	内 容
4月	初任者研修・オリエンテーション 外来・病棟業務研修
5月	外来・病棟業務研修
6月	前年度研修実績報告書提出 外来・病棟業務研修
7月 ~8月	外来・病棟業務研修
9月	日本精神神経学会学術総会参加 外来・病棟業務研修
10月 ~2月	多摩市医療系防災訓練参加 外来・病棟業務研修
3月	総括的評価

	精神科地域連携会議出席
	外来・病棟業務研修

ハートフル川崎病院

週間計画

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟診察又は 外来診察(新患)	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察
	医局会(第1・3)					
午後	病棟診察又は 外来診察(新患)	外来診察(再診)	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察
	指導医のもとmECT実施		指導医のもとmECT実施		指導医のもとmECT実施	
16:00-17:00	症例カンファレンス	臨床指導及び クルズス				

* 就業時間は週32時間で設定

年間計画

月	
4月	オリエンテーション、指導医とともに外来診察、病棟診察、当直業務を行う、4月中旬から入院患者担当開始
5月	当直業務開始
6月	外来業務開始、専門医研修プログラム進行状況確認
7月	症例カンファレンス 症例提示開始
8月	
9月	専門医研修プログラム進行状況確認、指定医症例の進行状況の確認
10月	10月以降に学会発表を行うために準備開始
11月	
12月	専門医研修プログラム進行状況確認
1月	
2月	
3月	専門医研修目標達成度評価

大富士病院

週間計画

	月	火	水	木	金	土
午前	外来陪席	自己学習日	入退院カンファレンス	外来業務	デイケア業務	
午後	病棟業務		病棟業務	病棟業務	医局会	
					病棟業務、回診	
5時以降						
					月2回当直	

年間計画

4月	オリエンテーション
5月	病院協会・診療所協会合同研修会
6月	日本精神神経学会総会参加
7月	病院協会・診療所協会合同研修会
8月	
9月	病院協会・診療所協会合同研修会
10月	
11月	
12月	同門会 集団会
1月	
2月	院内研究発表会
3月	

B 研修連携施設

① 施設名：医療法人社団清風会 富士見台病院

・施設形態：医療法人 単科精神科病院

・院長名：遠藤 詩郎

・指導責任者氏名：遠藤 詩郎

・指導医人数：(4) 人 (常勤3人、非常勤1人)

・精神科病床数：(305) 床

・疾患別入院数・外来数 (年間)

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	192	63
F1	15	6
F2	415	120
F3	223	42
F4 F50	137	9
F4 F7 F8 F9 F50	174	33
F6	10	2
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

富士見台病院は神奈川県西部地区に位置する、急性期を中心とした精神科医療全般を学べる単科精神科病院です。

2018年10月31日に新病棟を新設し、快適性の高い医療サービスを提供できる環境です。

入院医療では病床数305床のうち、41床を急性期病棟として運用し、思春期から老年期までの幅広い年代の入院医療を行っています。その他にも精神療養病棟、精神一般病棟も有しており、急性期から慢性期まで幅広い症例を学ぶことができます。

統合失調症、気分障害、認知症、物質依存、思春期疾患等、精神科専門医や精神保健指定医取得に必要な疾患を経験することができます。

当院では、入院医療から地域精神医療へ、という目標に沿って、地域の精神保健福祉支援や保健所の精神保健福祉相談にも参加し、様々な機関と密接に連携をとり、グループホーム、デイケア、訪問看護など社会復帰促進のために取り組んでいます。

外来医療では、特別養護老人ホームや救護施設への訪問診療も含め、福祉施設と連携し、サポートできる体制を整えている。

薬物療法では、治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン治療も行っており、良好な成績が得られています。

治験や臨床研究にも積極的に参加しており、日本精神神経学会学術総会ならびに各種学会への参加も推奨しております。

4. プログラム管理体制について

・プログラム管理委員会

- 医師：遠藤 詩郎

5. 評価について

1) 評価体制

富士見台病院：遠藤 詩郎

◆週間スケジュール

	月	火	水	木	金
08:45～12:00	外来診療 (初診・再診) 病棟業務	外来診療 (初診・再診) 病棟業務	外来診療 (初診・再診) 病棟業務	外来診療 (初診・再診) 病棟業務	外来診療 (初診・再診) 病棟業務
12:00～13:00	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
13:00～17:30	外来診療 (初診・再診) 病棟業務	外来診療 (初診・再診) 病棟業務	ペットコントロール 会議 病棟業務	外来診療 (初診・再診) 病棟業務	外来診療 (初診・再診) 医局会 病棟業務

*外来診療は週に1回(半日)。初診はローテーション

*病棟カンファレンス、脳波判読会は随時行う。

*毎週1回新患紹介兼症例検討会

*週1回研究日

◆年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	(院内研修) 訪問看護・退院支援
6月	日本精神神経学会学術総会参加 (院内研修) 接遇と人権について
7月	(院内研修) クロザピンについて 日本精神科医学会学術大会参加
8月	(院内研修) 行動制限最小化 (院内研修) 院内感染防止対策
9月	医療安全管理研修会 (個人情報保護法) (院内研修) 急変時の対応
10月	医療安全管理研修会 (医療安全対策)
11月	(院内研修) 褥瘡と摂食・嚥下障害 前年度研修実績報告書提出
12月	(院内研修) 精神疾患
1月	(院内研修) 認知症の理解とケア
2月	(院内研修) 診療報酬について (院内研修) 虐待防止
3月	(院内研修) 防災対策 総括的評価 研修プログラム評価報告書作成

*各種学会、地方会への参加を推奨

医療法人大和会西毛病院

週間計画

	月	火	水	木	金	土
午前	児童思春期外来陪席	再診外来	病棟	認知症外来	初診外来	
13~16時	病棟回診 医局会(第1)	リエゾン 精神保健相談(第2)	病棟	病棟 支援学級・老年精神医学 カンファレンス(随時)	病棟 介護施設診療(随時)	
16~17時	病棟	講義・勉強会	講義・勉強会	病棟	症例検討会	
17時以降					精神科救急(第1・3。 指定医と)	

年間計画

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会
7月	
8月	
9月	
10月	日本精神科医学会・精神神経学会地方会
11月	
12月	研修確認
1月	
2月	研修報告会
3月	

西八王子病院

週間計画

	月	火	水	木	金	土
8:50	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング
9:00	デイケア	訪問看護	こころのクリニック イムス八王子	外来	心理診断	
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	
13:00						
	病棟回診 急性期カンファレンス	病棟回診 抄読会	こころのクリニック イムス八王子	病棟回診	病棟回診 ストレスケア カンファレンス	
17:15						

年間計画

	内容	備考
4月	オリエンテーション	
5月		
6月	精神神経学会学術総会	
7月		
8月		
9月	CMS学会	
10月	ストレスケア病棟研究会	
11月		
12月		
1月		
2月	IMS学会	
3月		